

令和8年第3回瑞浪市議会定例会一般質問要旨、質問順位表

令和8年6月25日(木)・26日(金)

順位	1	議席番号	9	質問者	渡邊 康弘
標題1	学校教育における多様な学びの保障と安全対策について				答 弁 者
要旨	ア 異学年活動を通じた心の教育についてどのように考えているか。				教育委員会 事務局長
	イ 多様な学びを保障する関係機関との連携を進めてはどうか。				
	ウ 児童生徒の生命を守る熱中症対策に向けて「みまもりオアシス」の導入を進めてはどうか。				

標題2	「命の道」と「生活安全」の加速化について				答 弁 者
要旨	ア 命の道となる東濃西部都市間連絡道路の早期事業化に向けた考えはどのようなか。				建設部長
	イ 被災時の避難路を確保するため上平5号線の整備と併せて無電柱化を同時に推進すべきではないか。				
	ウ 住民の安全・安心を優先し、道路閉塞や建築限界への侵食に対応するため、街路樹を撤去すべきではないか。				
	エ 通学路の安全をハード面から対策するゾーン30プラスへの転換をどう捉えているか。				

標題3	東濃西部広域ごみ焼却施設整備における中継施設の取り扱いについて				答 弁 者
要旨	ア 東濃西部広域ごみ焼却施設整備等審議会における本市理事の発言趣旨と、今後の市民への説明責任をどのように果たすのか。				理事
	イ 中継施設を仮に整備する場合、建設費及び維持管理費に係る財源をどのように確保するのか。				
	ウ 中継施設を仮に整備する場合、将来的な市民負担への影響をどのように捉えているのか。				

順位	2	議席番号	3	質問者	奥村 一仁
標題1	職員が働きやすい職場環境の整備について				答 弁 者
要旨	ア	小学校就学後の子を養育する職員が、こども園等の在園時と比較して勤務上どのような課題を抱えているかについて把握することが重要と考えるが、本市の見解はどのようなか。			総務部長
	イ	育児休業、部分休業、短時間勤務等の制度の利用状況と課題はどのようなか。			
	ウ	本市の現行制度は、小学校就学後の子を養育する職員の育児ニーズに十分対応できていると考えているか。			
	エ	小学校就学後の子を養育する職員を対象とした独自の部分休業を導入している自治体があるが、本市では当該制度をどのように評価しているか。			
	オ	仕事と育児の両立支援制度を利用しやすい職場環境を整えるため、業務の平準化や複数担当制、代替職員の確保等の組織運営はどのようなか。			

順位	3	議席番号	10	質問者	大久保 京子
標題1	少子化に対する子育て支援と子どもを望む夫婦への支援について				答 弁 者
要旨	ア 本年度より開始した「瑞浪市不妊検査費助成事業」及び「瑞浪市一般不妊治療費助成事業」を実施することにした目的は何か。				健康福祉部 次長
	イ 本市においても先進医療費助成を行ってはどうか。				
	ウ 不妊検査費助成事業及び一般不妊治療費助成事業について、どのように周知を行っているか。				
	エ 本市において、プレコンセプションケアをどのように考えるか。				

順位	4	議席番号	5	質問者	柴田 幸一郎
標題1	市道におけるアスファルト舗装の維持管理について				答 弁 者
要旨	ア アスファルト舗装の変状の原因と対処方法はどのようなか。				建設部長
	イ アスファルト舗装の点検はどのようなか。				
	ウ アスファルト舗装の点検や管理に生成AIを活用できないか。				

標題2	多文化共生社会の推進について				答 弁 者
要旨	ア 多文化共生社会の実現に向け、どのような取り組みを行っているか。				みずなみ未来部 次長
	イ 企業が開催する日本語教室のために、市は仲介役を行うことができないか。				
	ウ 多文化共生を推進するためにどのような支援が必要と考えるか。				

順位	5	議席番号	12	質問者	成瀬 徳夫
標題1	市内の主な観光地、観光施設の課題解決について				答 弁 者
要旨	ア 本市の観光入込客数の推移はどのようなか。				経済部長
	イ 今後の市民公園内の文化施設への来館者数及び、体育施設の利用者数をどのように推測するのか。				みずなみ未来部 次長
	ウ ゴルフ場への来訪者の状況はどのようなであり、本市の観光資源としての位置づけをどのように考えるか。				経済部長
	エ 地方創生伴走支援制度による現地発着型観光コンテンツ造成事業では、「観光協会と協働して事業を推進」とあるが、具体的にどのような取り組みをするのか。				
	オ 観光協会に対し事業の実施に必要な経費として交付金を交付しているが、法人化された観光協会にどのような成果を期待するのか。				

標題2	公立東濃中部医療センターの課題について				答 弁 者
要旨	ア 公立東濃中部医療センターの課題をどのように把握しているか。				市長
	イ 公立東濃中部医療センターへの交通手段を行政として解決する必要があるのではないか。				
	ウ 現在の運営方法で公立東濃中部医療センターは維持していけるのか。				
	エ 公立東濃中部医療センターへの交通手段として自動運転車両の導入を諦めた理由は、具体的にどのようなことからか。				経済部長
	オ 交通手段としての自動運転を今後どのように取り組むのか。				市長

順位	6	議席番号	2	質問者	犬塚 利彦
標題1	交通弱者の通院手段について				答 弁 者
要旨	ア 公立東濃中部医療センターへのシャトルバスの利用状況はどのようなか。				健康福祉部 次長
	イ シャトルバスの本数を増やすことはできないか。				
	ウ 交通弱者の移動手段確保のため、自宅まで迎えに来て目的地へ行ける交通手段を検討できないか。				健康福祉部長

順位	7	議席番号	13	質問者	榛葉 利広
標題1	防災危機管理における通信機器の更新と運用体制について				答 弁 者
要旨	ア 本市が災害用として各避難所や本庁に配備している、MC A無線及び衛星携帯電話の総数はどのようなか。				総務部長
	イ 衛星携帯電話やMC A無線機などに内蔵されているリチウムイオンバッテリーの状態はどのようなか。				
	ウ MC A無線の更新はどのように考えるか。				
	エ 衛星携帯電話の更新はどう考えるか。				
	オ 将来的な機器更新計画と財政見通しについては、どのように考えるか。				市長

標題2	災害時の冷蔵保管が必要な医薬品の確保体制について				答 弁 者
要旨	ア 災害時における医薬品の確保体制について、市内薬局・医療機関との連携はどのようなか。				健康福祉部 次長
	イ 持病を持つ市民に対する災害時の適切な医薬品の保管方法について、啓発を行う必要があるのではないか。				
	ウ 指定避難所における保全・供給体制についてはどのようなか。				総務部長

順位	8	議席番号	16	質問者	柴田 増三
標題1	指定管理者制度におけるインセンティブ加算について				答 弁 者
要旨	ア 令和8年度現在、インセンティブ加算の対象となっている施設はどこか。				みずなみ未来部長
	イ インセンティブ加算施設の要件に該当するが加算対象施設でない施設はどのようなか。				
	ウ 大湫町旧森川訓行家住宅（丸森）と自然ふれあい館はインセンティブ加算施設の要件に該当するが、今後の対応はどのようなか。				経済部長
	エ インセンティブ加算について今一度見直してはどうか。				みずなみ未来部長

標題2	瑞浪駅周辺再開発事業について				答 弁 者
要旨	ア 瑞浪駅南地区の事業協定基本契約を締結した事業者が建設に携われる見通しが無いとの新聞報道が大きく取り上げられたが、瑞浪駅周辺再開発事業について現状はどのようなか。				理事
	イ 各地の公共事業が建設資材等物価高騰や人材確保等により入札不調が伝えられているが、今後の事業の見通しはどのようなか。				

順位	9	議席番号	15	質問者	加藤 輔之
標題1	ボランティア活動について				答 弁 者
要旨	ア 主に組織化されている社会福祉分野のグループの現状はどのようなか。				健康福祉部長
	イ 福祉ボランティア活動の問題点をどのように認識しているか。				
	ウ ボランティアの育成支援策はどのようなか。				

順位	10	議席番号	7	質問者	辻 正之
標題1	企業の支援及び新規事業の創出について				答 弁 者
要旨	ア 令和7年度の中小企業販路開拓支援事業の取組み実績と今後の出展見込みはどのようなか。				経済部長
	イ 創業支援等事業計画に基づく市の取組み状況はどのようなか。				
	ウ 企業立地における奨励金制度の利用状況と今後の展望はどのようなか。				

標題2	子どもたちを支える教育と福祉の連携について				答 弁 者
要旨	ア 不登校児童・生徒に対する対応はどのようなか。				教育委員会 事務局長
	イ 社会のなかで自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくキャリア発達を促すためのキャリアコンサルタントの資格を有する専門家を配置してはどうか。				
	ウ 学校における児童虐待・ヤングケアラーの早期発見はどのようなか。				
	エ 児童虐待・ヤングケアラーを早期対応するため、健康福祉部と協力・連携してはどうか。				

順位	11	議席番号	14	質問者	熊谷 隆男
標題1	次期市長選挙について				答 弁 者
要旨	ア これまでの市政運営をどのように評価しているか。				市長
	イ 今後取り組むべき本市の課題をどのように把握しているか。				
	ウ 本市の望むべき将来像をどのように考えるか。				
	エ 来年に予定される次期市長選挙への進退はどのようなか。				